

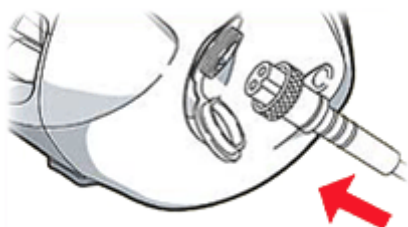
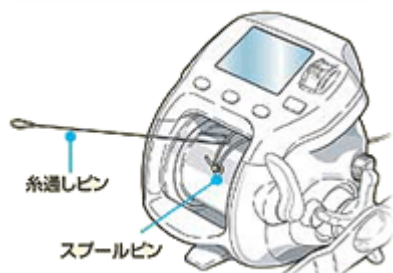
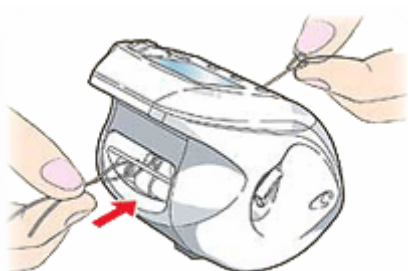
# 電動リール糸巻学習方法

商品コード	年式	品番	写真
RG121000	1998年	1000H	
RG161000	2001年	1000H	
RG143000	1999年	3000XH	
RG151000	2001年	1000EV	

商品コード	年式	品番	写真
RG153000	1999年	3000EV	 A blue and silver outboard motor with a red handle.
RG154000	2000年	4000HP	 A silver and black outboard motor with a purple handle.
RG160600	2003年	600H	 A blue and silver outboard motor with a black handle.
RG163000	1999年	3000H	 A black and silver outboard motor with a black handle.

商品コード	年式	品番	写 真
RG183000	2001 年	3000R	
RG184000	2002 年	4000R	

## 1 糸をセットします。



※コネクタは説明のため  
凹部を逆向きに書いています。

1.1 糸をレベルウィンドに通し、スプールピンに糸を結んでください。

※ 糸を通すときは、付属の糸通しピンを使用することをおすすめします。糸をスプールのピンに結んでください。

1.2 電源コードを接続してください。

電源コードのプラグの凹部と、リールの電源のコネクタの凸部を合わせ、奥まで差し込んで、ネジを締めてください。

## 2 モードを選択します。

2.1 先の細いボールペンのようなものでモードスイッチを押してください。

モードスイッチは1回押すごとに下記のように切り替わります。

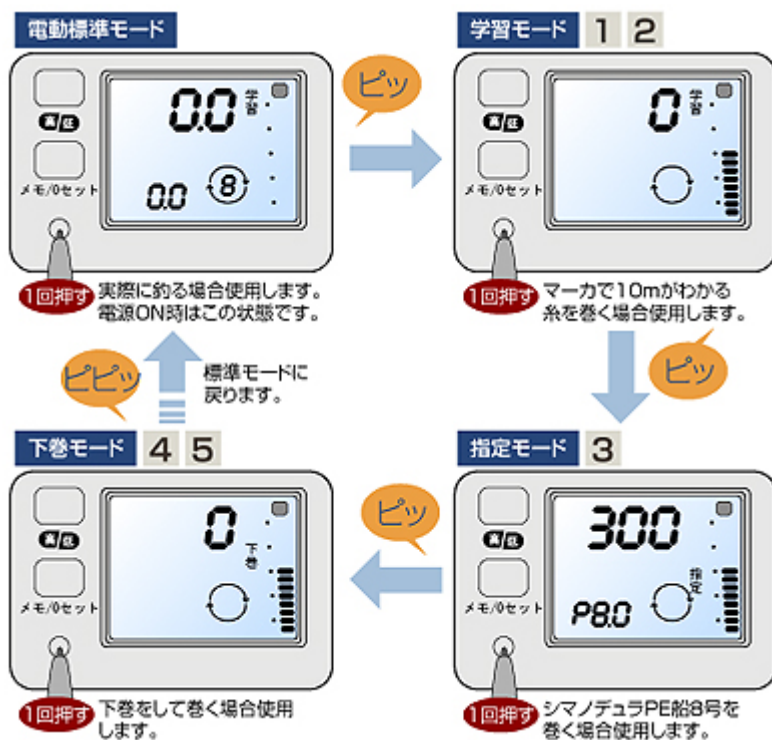
使用する糸の種類に合ったモードを選択します。(1~5)



※ 画面表示、ボタンの配置は機種により若干異なります。

(図は 4000R)

※ 図中の「メモ・0セットボタン」は 600Hでは「0セット/速巻きスイッチ」となります。



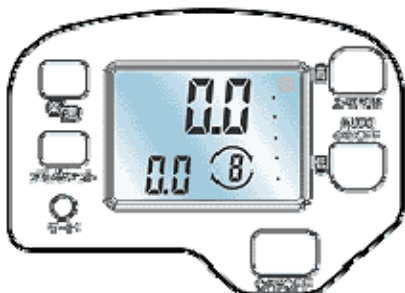
【図3】は4000番の場合です。3000番は6号300m(表示は「P6.0」)。

1000番は4号300m(表示は「P4.0」)。600番は4号200m(表示は上図)になります。

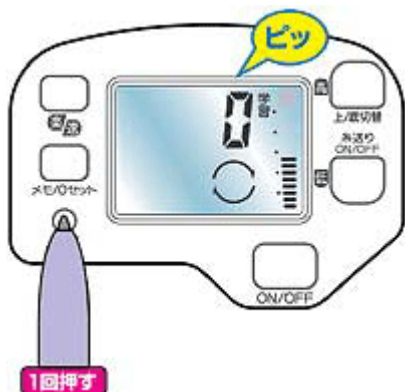
1	メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合	学習モード	6頁へ進む
2	ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合		8頁へ進む
3	シマノ・デュラPEを指定モードで巻かれる場合	指定モード	10頁へ進む
4	スプールの下巻ラインを使用する場合	下巻モード	11頁へ進む
5	それ以外の組み合わせを巻かれる場合		

### 2.1.1 メータごとのマークのある糸を巻かれる場合（学習モードを使用します）。

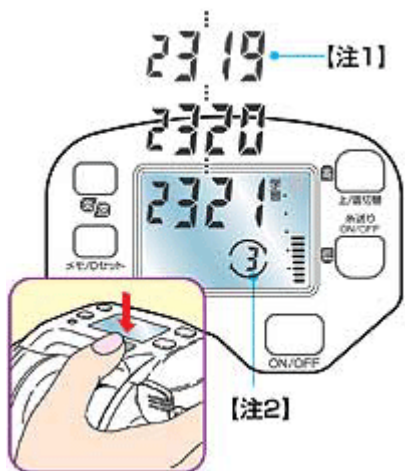
1. クラッチレバーを ON にしてください。  
そして、電源の接続を確認してください。  
デジタル表示は図のようになります。



2. 先の細いボールペンのようなもので、「モード」スイッチを 1 回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。  
「モード」スイッチを 2 回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。



3. 「メイン」スイッチを押して糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。巻き上げのテンションは矢印内の数字が 3 になるようにしてください。  
この数字はリールが巻き上げている力（糸のテンション）を数字で表示します。数字=kg ではありません。  
また、「楽楽/速度モード」時の数値とも異なります。  
巻き上げ速度は変速ボタンで調節できます。  
巻くのを止めるときは、もう一度「メイン」スイッチを押してください。



[注 1] スプールの回転数を示します。  
[注 2] 巻き上げのテンションはこの数字が 3 になるようにしてください

4. 糸を完全に巻き終えたら、「メモ・0 セット」ボタン（600H は「0 セット/速巻きスイッチ」）を 3 秒以上押してください。  
表示は図のようになります。  
※ 600Hでは「セット」が表示され、カウンターは「0」に戻ります。





5. 糸を正確に 10m 分引き出します。  
 (糸の 10m ごとの色の変化、もしくは 1m ごとのマーカの数で確認します)

回転数が下段 (600Hは上段) に表示されます。

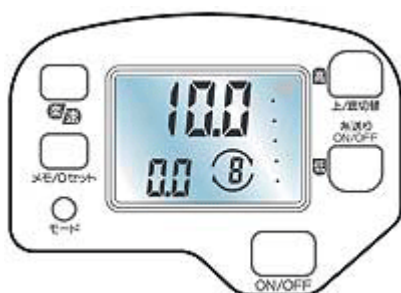
学習を終了するため、「メモ・0セット」ボタン (600H は「0セット/速巻きスイッチ」) を 3 秒以上押してください。

「セット」が表示されます。

※ 各入力途中で「モード」スイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度最初からやり直してください。



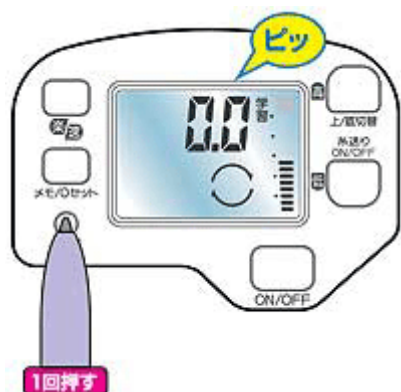
6. 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。  
 引き出した 10m 分の糸を巻き取ってください。



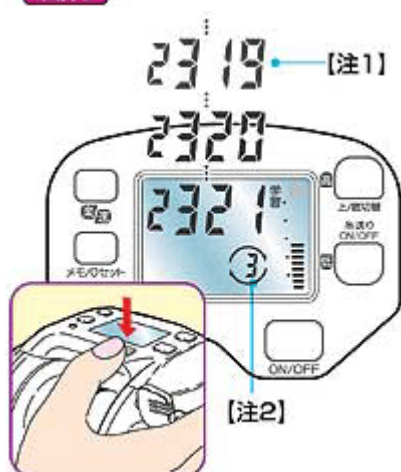
他社 PE ライン 6 号・300m の場合、カウンターの誤差が 3% を超えて生じる場合があります。  
 カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で  $\pm 3\%$  の誤差が生じる場合があります。

※ 誤差とは、学習後 1 投目の誤差です。

## 2.1.2 ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合（学習モードを使用します）



1. クラッチレバーを ON にしてください。  
そして、電源の接続を確認してください。  
先の細いボールペンのようなもので、「モード」スイッチを 1 回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。「モード」スイッチを 2 回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。



2. 「メイン」スイッチを押して糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。  
巻き上げのテンションは矢印内の数字が 3 になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力（糸のテンション）を数字で表示します。  
数字=kg ではありません。  
また、「楽楽/速度モード」時の数値とも異なります。  
巻き上げ速度は変速ボタンで調節できます。  
巻くのを止めるときは、もう一度「メイン」スイッチを押してください。  
[注 1] スプールの回転数を示します。  
[注 2] 巻き上げのテンションはこの数字が 3 になるようにしてください。



3. 糸を完全に巻き終えたら、「メモ・0 セット」ボタン（600H は「0 セット/速巻きスイッチ」）を 3 秒以上押ししてください。  
表示は図のようになります。

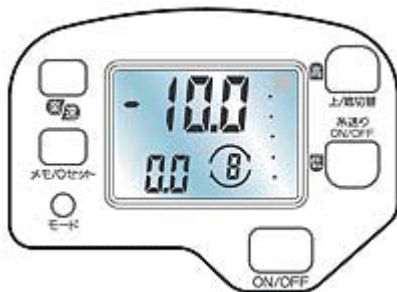


4. 巻き取った糸の先に長さ 10m の別の糸を結びつけます。





5. 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。  
 回転数が下段（600Hは上段）に表示されます。  
 学習を終了するため、「メモ・0 セット」ボタン（600H は「0 セット/速巻きスイッチ」）を3秒以上押してください。  
 「セット」が表示されます。  
 ※ 各入力途中で「モード」スイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度最初からやり直してください。



6. 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。  
 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください



注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません

カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。

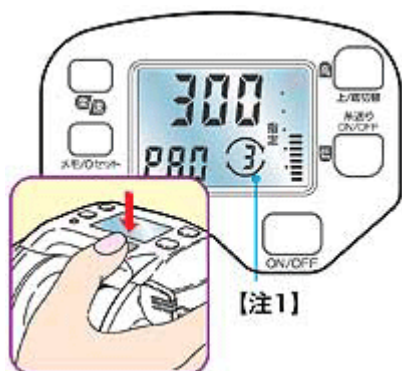
※ 誤差とは、学習後1投目の誤差です。

### 2.1.3 シマノ・デュラ PE を指定モードで巻かれる場合

以下の説明は 4000R でシマノデュラ PE8 号を 300m 巻く場合です。



1. 先の細いボールペンのようなもので、「モード」スイッチを 2 回押してください。「指定」が点灯、図のように表示され、指定モードになります。「モード」スイッチを 2 回以上押しすぎて下巻・学習モードになってしまった場合、指定が表示されるまで何回か押してください。



2. これで糸を巻きます。

左下の数字が 3 になるテンションで、巻いてください。電動巻き上げは約 10m の手前で自動的にストップします。残りの糸を手巻きで巻いて下さい。

[注 1] 巻き上げのテンションはこの数字が 3 になるようにしてください。

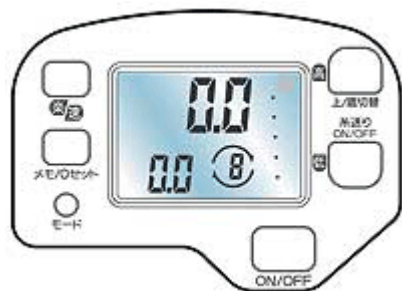


3. 糸を完全に巻き終えたら、学習を終了するため「メモ・0セット」ボタン（600H は「0セット/速巻きスイッチ」）を 3 秒以上押してください。表示は図のようになり、「セット」が表示されます。

※ 各入力途中で「モード」スイッチを誤って押ししてしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度最初からやり直してください。



4. 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。  
(他社 PE ラインの場合、カウンターの誤差が 3% を超えて生じる場合があります)



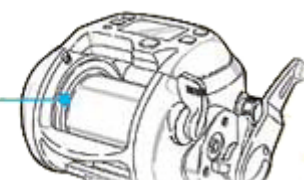
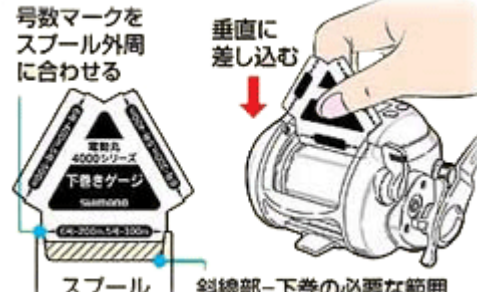
注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数値を示すわけではありません

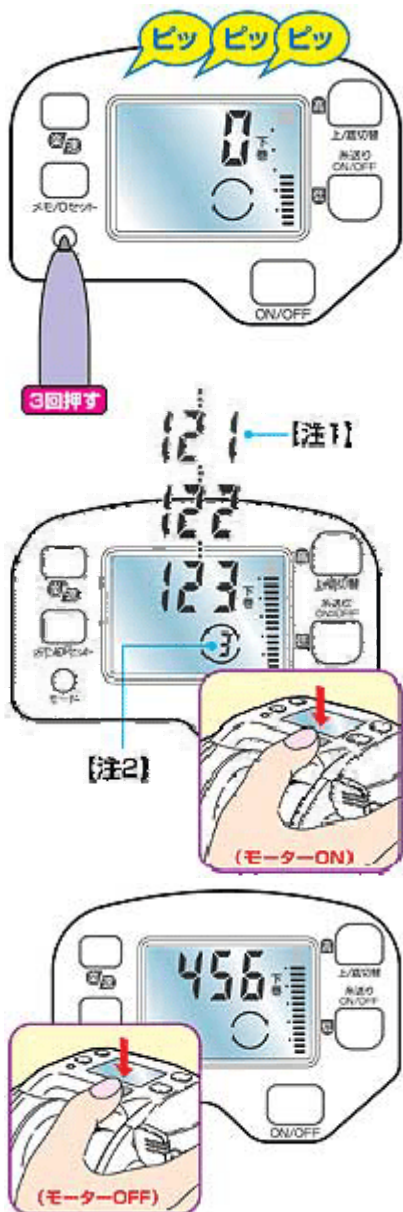
カウンターの数値と実際の糸の出した長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。

※ 誤差とは、学習後 1 投目の誤差です。

2.1.4 スプールの下巻ラインを使用する場合／それ以外の組み合わせを巻かれる場合  
 (RG121000/98年1000Hはこの方法での入力はできません)

下巻の方法

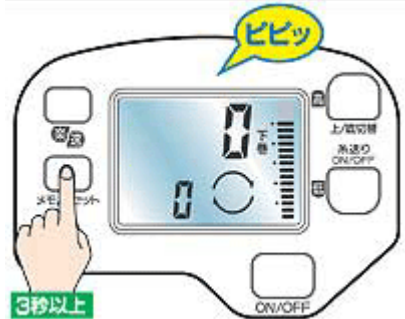
スプールの下巻ラインを使用する場合	それ以外の組み合わせを巻かれる場合
 <p>スプールの下巻ラインまで下巻します。</p>	 <p>号数マークをスプール外周に合わせる              垂直に差し込む              スプール              斜線部=下巻の必要な範囲</p> <p>上図のように付属のゲージをスプールに垂直に差し込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。              スプールとゲージの間にできたすき間(図の傾斜部)が下巻をする範囲です。ゲージにあたるまで下巻をして下さい。  <b>ゲージの形状は機種によって異なります。</b></p>



1. 先の細いボールペンのようなもので、「モード」スイッチを3回押してください。  
 「下巻」が点灯、図のように表示され、下巻モードになります。  
 「モード」スイッチを3回以上押しすぎて指定・学習モードになってしまった場合、下巻が表示されるまで何回か押してください。
2. 上図の要領でそれぞれ下巻を行います。「メイン」スイッチを押して糸を巻いてください。  
 左図は高速で下巻している場合の表示です。矢印内の数字が3になるテンションで巻いてください。  
 [注1] スプールの回転数を示します。  
 [注2] 巻き上げのテンションはこの数字が3になるようにしてください。
3. 巻くのを止めるときは、もう一度「メイン」スイッチを押してください。

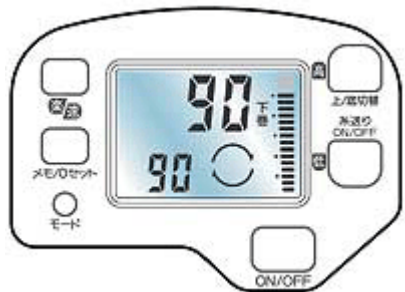


4. 下巻を終えたら、このように下巻に上巻用の糸を結びます。



5. 「メモ・0セット」ボタン（600Hは「0セット/速巻きスイッチ」）を3秒以上押してください。表示は図のようになります。

※ 600Hでは「セット」が表示されます。

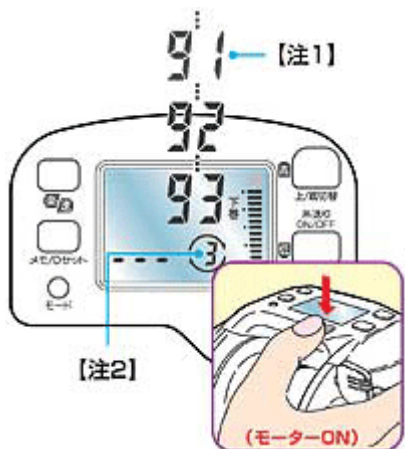


6. 上巻糸を正確に 10m 分手巻きで巻き取ります。回転数が下段（600Hは上段）に表示されます。



7. 「メモ・0セット」ボタン（600Hは「0セット/速巻きスイッチ」）を3秒以上押してください。表示は図のようになります。

※ 600Hでは「セット」が表示されます。



8. 上巻糸を学習するため、「メイン」スイッチを押して残りの糸を巻いてください。

矢印内の数字が3になるテンションで巻いてください。

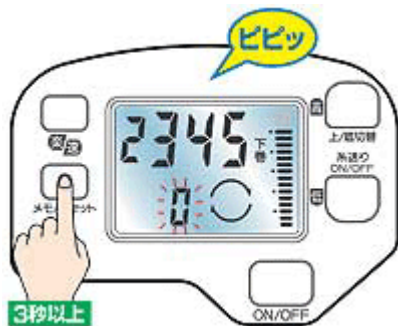
[注 1] スプールの回転数を示します。

[注 2] 巻き上げのテンションはこの数字が3になるようにしてください。





9. 巻くのを止めるときは、もう一度「メイン」スイッチを押してください。



10. 糸を完全に巻き終えたら「メモ・0セット」ボタン（600Hは「0セット/速巻きスイッチ」）を3秒以上押してください。表示は図のようになります。

※ 600Hでは「セット」が表示され、カウンターは「0」に戻ります。



11. 糸を正確に 10m 分引き出します。

（糸の 10m ごとの色の变化、もしくは 1m ごとのマーカの数で確認します）

回転数が下段(600H は上段) に表示されます。

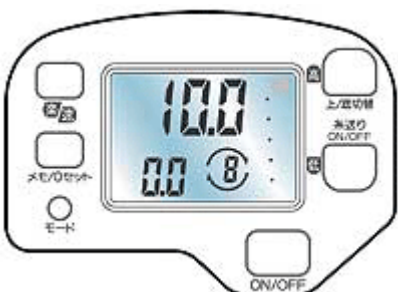
学習を終了するため、「メモ・0セット」（ボタン 600H は「0セット/速巻きスイッチ」）を3秒以上押してください。「セット」が表示されます。

※ 各入力途中で「モード」スイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。上巻分の糸を出してもう一度・からやり直してください。



12. 表示が上からモードに戻り、学習は完了で。

引き出した 10m 分の糸を巻き取ってください。



注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数値を示すわけではありません

カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。

※ 誤差とは、学習後1投目の誤差です。